

くらし専門部会の課題【第1回専門部会】

- 既存のコミュニティに加え、新たなコミュニティや絆づくりが求められている
 - ・下町情緒が残る地区や高層マンションなどコミュニティが生まれにくい地区がある。
 - ・ワークライフバランスなどにより、地域や人と関わる時間を生み出す。
 - ・同じ課題を共有でき、地域の中で解決したり、一人ひとりが主体的に参加できるような多様なコミュニティづくりが必要。
 - 一人ひとりが担い手となり、互いに支えあえる関係づくりが求められている
 - ・親元にいる若者が増えているが、今後は介護の担い手として期待できる。
 - ・元気な高齢者が増えていくことが予想され、活躍できる場が必要。
 - ・財源が限られており、ボランティアや施設（行政）に頼らない子育てや介護が必要。
 - 一人ひとりが意識しながら、健康づくりに取り組むことが求められている
 - ・健康寿命を伸ばすためには、個人の健康管理意識の向上と継続的な取り組みが必要。
 - ・健康寿命が延伸すると、扶助費の削減につながる。
 - 必要な支援を受けながら、地域で安心して暮らせることが求められている
 - ・高齢化の進展により「老老介護」の増加が予想される。
 - ・足立区版地域包括ケアシステムの構築や働きながら介護ができる環境づくりにより、住み慣れた自宅で生活し続けたいという願いをかなえられるようにする。
 - ・高齢や介護のために働きたくても働けない人への支援が必要。（生活保護）
 - ・障がい者の方に目を向けた施策展開が必要。
 - 足立産のものを足立で消費できる仕組みが求められている
 - ・23区でも有数の農業区であることを活かして地産地消を進める。
 - ・農業だけでなく、優れた職人技の作品により地域経済を活性化させることが必要。
 - 新たな足立のイメージを発信していくことが求められている
 - ・区民による評価はあがってきているが、区外からの良くないイメージが抜けない。
 - ・区を挙げて応援するスポーツや文化などにより、新たなイメージをつくる。
 - ・若者向けの情報発信媒体の活用など、ターゲットに対して効果的な情報発信をしていくことが必要。
- =====
- ▼まちづくり専門部会からの提案
- ・マンションの開発段階から町会・自治会加入のルールづくりが必要である。
- ▼子ども専門部会からの提案
- ・子どもの貧困の問題を解決するため、ひとり親家庭への対応や、職業訓練や福祉のあり方を検討してほしい。

くらし専門部会からの提案事項【第2回専門部会】

足立区の将来像（あるべき姿）

（キーワード案）

- 足立らしい多様なコミュニティが生まれるまち
- 「人の力」や「人の良さ」を活かすまち
- 生涯にわたって健康で生き生きと活躍できるまち
- 一人ひとりが尊重され、豊かに生きられるまち
- 低所得でも豊かに住めるまち

将来像を設定した根本となる考え方（基本理念）